

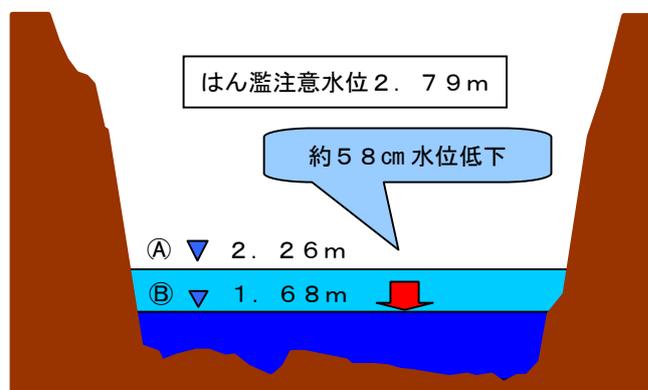
平成25年7月27日 横川ダム防災操作速報

7月27日の朝から降り続いていた雨は、特に7月27日14時から15時にかけて流域全体に時間雨量34mm/hを超える強い雨が降りました。この降雨による出水により横川ダムでは今年に入って初めての防災操作を実施しました。

横川ダムの最大流入量は、7月27日16時50分に約182m³/sに達しましたが、防災操作により、一時的にダム湖に約160m³/sを貯めて、下流河川の急激な増水を緩和し、小国水位観測所（横川）の最高水位を約58cm低下させることが出来たと推測されます。

今回の洪水中ダム湖に貯めた水量は約114万m³で、東京ドーム（約124万m³）1個分に相当します。

この水量の一部は水力発電のエネルギーとして有効利用されています。



- ①：横川ダムがなかった場合の想定水位
- ②：横川ダムの防災操作による実績最高水位

（発表数値は、速報値であり、今後数値は変更する可能性があります）

同時発表記者クラブ

山形県政記者クラブ
新潟日報社 村上支局
村上新聞社
いわふね新聞社

問い合わせ先

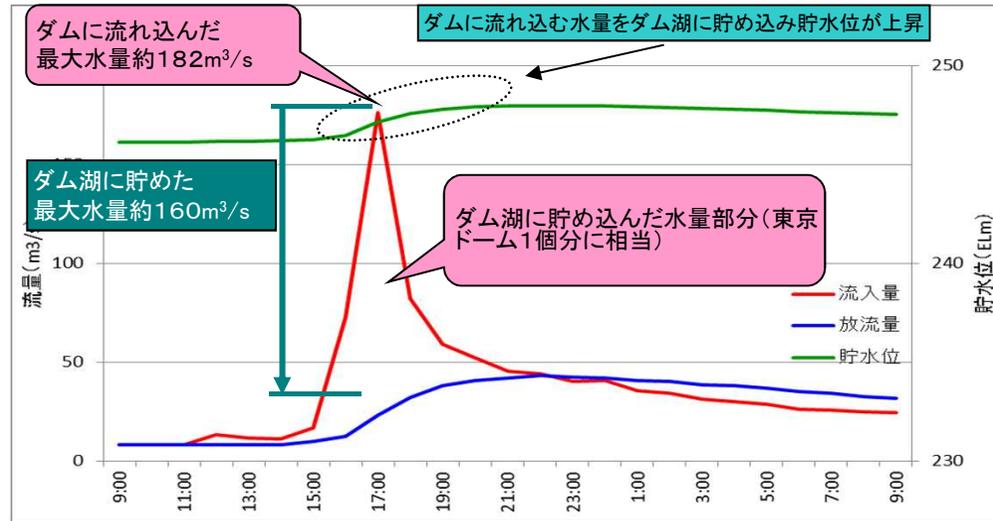
国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所
横川ダム管理支所長
笠原 邦昭
管理係長
澤田 陽介
TEL：0238-65-2363(代)



- 荒川水系横川ダム上流域において、時間雨量が34mmとなる、非常に激しい降雨を観測。
- ダムへ最大182m³/sの流入があり、一時的に160m³/sをダムで貯留し、洪水調節を行った。
- 今回の洪水において、最大約114万m³（東京ドーム約1個分）の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図った。
- ダム下流の小国観測所地点（小国町小国小坂町付近）では、約58cmの水位を低減させる効果があったものと推測。（発表数値は、速報値であり、今後数値は変更する可能性があります）

小国観測所地点の水位

ダム整備前：2.26m
 ダム整備後：1.68m
 →約58cmの水位低減



小国観測所における水位低減効果

